

ニューソフィア

New Sophia

71号

[Vol. 19-3]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています



Featuring News

法人名を「福岡歯科学園」から

「福岡学園」へ変更

ブリテイッシュコロンビア大学への訪問

Seasonal Topics

新任教授インタビュー／公開講座のご案内

平成22年度事業報告及び決算

平成23年度科学研究費補助金の交付決定

[The Campus' People]

■新理事・評議員紹介

■新任・昇任教員紹介

■福岡歯科大学特待生・AO入試学術奨励金支給者

■大学院特別奨学生・奨学生

■福岡医療短期大学特別奨学生

[Event Report]

■第14回学園体育祭

◆From The Alumni Association

■同窓会だより

■同窓生オープンキャンパス入試説明会

◆Hi! From Clinic

■深野歯科医院

■山口県防府市

■加藤田外科医院 歯科診療所

■福岡県筑紫野市

◆Message From Students & Parents

■学生と保護者様からのメッセージ

◆Information

■平成24年度入試日程

■オープンキャンパス案内

お知らせ
**法人名
変更について**

「学 校法人福岡歯科学園」から「学校法人福岡学園」への法人名変更について、平成23年6月7日付けで文部科学省の認可を受けました。

これを機に、歯科医学教育をはじめ保健、福祉の発展に寄与する総合学園として、これまでの39年の歴史と伝統を踏まえて、更なる飛躍を目指し尽力する所存でございますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

学校法人 福岡学園

理事長 田中 健藏



国際交流



**ブリテイッシュコロロンビア大学
歯学部学生交換プログラムへの参加**

**世界の歯学生とともに
最先端の臨床実習に参加。**

2011年4月9日～4月24日の2週間、カナダ・バンクーバーのブリテイッシュコロロンビア大学(UBC)歯学部(Academic, Social and Cultural Program)に福岡歯科大学から今回初めて参加しました(6年生・平野雄、宮園佳宏、児玉沙央理、津覇久美子、引率教員・松浦尚志(前半)、米田雅裕(後半))。UBC歯学部は4年制で、学生は各学年50人ずつ、その内10人は外国人枠であり、国際交流の盛んな学部です。UBC歯学部はすでに幾つもの外国の歯学部と交換プログラムの協定を結んでおり、オーストラリア、パキスタン、ナイジェリア、韓国の学生もこのプログラムに参加しました。学生は基本的にUBCの5年生(6年生になる直前)のプログラムに従い、診療、講義、実習に参加しました。プログラムのDirectorはRavindra Shah先生で、渡航前の準備から現地でのプログラムの編成まで、心理的なサポートも含めていろいろと尽力いただきました。このプログラムを通して非常にショッキングに感じたことは「Problem-based Learning」とcase presentationのレベルが非常に高いことで、教員の臨床レベルと卒前教育への意識レベルが高く、そのシステムも

優れています。日本の国家試験の臨床問題のレベルが非常に恥ずかしく思えるほどでした。

**今後はUBCから
福岡歯科大学への学生派遣も。**

UBC側は来季から福岡歯科大学への学生派遣を真剣に考えており、その件についてShah先生と詳細に話をしました。2週間のプログラムでは学術的(Academic)な発見は期待できないかもしれないけれども、異なる教育環境、社会(Society)、文化(Culture)に触れることによって自分が以前の自分から何かしら良い方向に変わり(Transformation)、それが自分の将来にとって有益であると認識することがこのプログラムに臨むにあたって最も重要だろうという話になりました。たとえ日本の歯学教育が北米と比べて劣っていると見ても、異なった教育環境、社会、文化を体験することでUBCの学生もTransformされるでしょうし、またUBCの学生を受け入れることによって本学の学生および教員もまたTransformされるならば、積極的にこの交換プログラムを発展させていく意義が生まれてくるものと思えました。時間はかかるかもしれませんが、学生と教員にとって実質的に意味のある交換プログラムになることを願っています。

咬合修復学講座 冠橋義歯学分野 准教授 松浦尚志

Certificate授与式



Problem-based learningの様子

インタビュー

福岡歯科大学医科歯科総合病院に、
4月より就任された金光教授にインタビュー！

「ご出身はどちらですか？」

生まれは博多で小学校までは福岡市内で過ごしましたが、中高校生のときは鹿児島にいたのですが、九州大学医学部に入学して、福岡に戻ってきました。

最後に、今後の展望をお聞かせください。

どの様な大学時代でしたか？
フォーキング同好会に所属して、フォーキングではなく、ロックをやっていました。楽器は、ベースやキーボードを。音楽は、大学の6年間だけでなく、今も続けますよ。

実は、前任の稲光教授は、私が九大の心療内科に入局したとき医局長をされていた方で、以後、診療や研究でもプライベートでも親しくさせていただいております。この度、福岡歯科大学でのお仕事は稲光教授の後任ということでもとても光栄に思っています。歯科医学は、これまでの私にとっては特殊な位置づけでありましたが、こちらは、医科と歯科の融和があつて、面白い立場で携わっているのではないかと期待を抱いています。

臨床のご経歴、教えてください。

心身医学には高校生のころから興味を持っていましたし、九大には心療内科がありましたので、未開拓の分野で面白そうだと思つて入局しました。診療科としてはマイナーかもしれませんが、担っている使命は大きいと思っています。九大勤務時代に心身医学については一通り叩きこまりましたが、指導的立場になつてからは特に神経領域を専門としていました。その後、留学したのですが、帰国してからは病棟医長などをやりながら、ジストニア、つまり斜頸とか書痙といった不随運動系の心身症患者さんにバイオフィードバックを用いて治療するということをやってきました。ジストニアは器質的疾患ではありますが、非常に心理的な関与も多いのです。

《インタビュー後記》
ロックを演奏されるお姿はちょっとイメージしにくいのですが、優しくてすてきな声で、インタビューに丁寧に答えてくださいました。金光教授は学生相談室のカウンセラーとしても従事されています。

研究もそのあたりがご専門ですか？

脳研究、ストレスでどのように免疫応答が変わるかとか、ニューロンのレセプターの特性などについてやってきました。



かねみつ よしお
心療内科学 金光 芳郎 教授

《略歴》九州大学医学部卒。同大学大学院心身医学専攻博士課程修了。米国立衛生研究所(NIH)留学。九州大学病院心療内科助教を経て、平成23年4月1日福岡歯科大学教授就任。医学博士。福岡県出身。

公開イベント

福岡歯科大学 公開講座

お口とからだキレイになる
アンチエイジング

日時 平成23年9月23日(金・祝)・24日(土) 13:30~16:30

場所 よみうりプラザ(福岡市中央区赤坂)

9月23日(金・祝) 気になるにおいの最前線~お口とからだから~

講師:萩家 康弘(福岡歯科大学口腔顔面美容医療センター 講師)
谷口 奈央(同大学総合歯科学講座 講師)

9月24日(土) アンチエイジングの最前線~からだの内と外から~

講師:萩家 康弘(福岡歯科大学口腔顔面美容医療センター 講師)
徳本 正憲(同大学総合医学講座 講師)

一般の方を対象にした公開講座で、どなたでも受講できます。定員120名。受講料は無料です。

- 申込方法:受講希望日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記の上、電話、FAX、E-mailまたはハガキで下記までにお申込みください。折り返し受講票をお送りします。
- 申込及び問合せ先:福岡歯科大学 企画課
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1
TEL:092-801-0411(内線508) FAX:092-801-3678
E-mail kikaku@college.fdcnet.ac.jp
ホームページ http://www.fdcnet.ac.jp/col/info/lecture.html



メールでのお申込みはこちら

福岡医療短期大学 公開講座

口から始める健康(健口)づくり
~よく食べて、よく噛んで、よく生きる~

日時 平成23年10月2日(日) 12:50~16:30

- 申込方法:FAXまたはE-mailでお申込みください。
- 申込先:福岡医療短期大学 公開講座委員会
TEL:092-801-0923(内線199)
FAX:092-801-4473

※定員(120名)になり次第締め切らせていただきます。なお、参加料は無料です。

第7回健康まるごと福岡学園

日時 10月22日(土)・23日(日) 場所 福岡歯科大学

福岡学園では、医療・保健・介護のみではなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、「健康まるごと福岡学園」を開催します。

イベント

- 田の歯科祭
- 講演会(地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム)※23日のみ
- からだの科学展 ●医科ミニ講座 ●歯科無料相談
- 介護無料相談・介護施設見学 など
- 盛りだくさんの内容で皆様のご来場をお待ちしています。
- 問合せ先:福岡歯科大学 企画課 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1
電話:092-801-0411(内線508) FAX:092-801-3678
E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

平成22年度事業報告及び決算

学校法人福岡歯科学園の事業報告および決算が、5月24日開催の評議員会、理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

平成22年度(第39期) 事業報告の概要

福岡歯科学園理事長

田中 健藏

大学の第2次中期構想期間が終了する22年度においては、大学の基本理念・目的の実現および更なる発展を目指し、「歯科医学から口腔医学へ」をスローガンに教育・研究・社会貢献活動を展開しました。また、「口腔医学の確立」に向けて、法人・教学のトップが先頭となって関係各面からの理解と支援の要請等をより積極的に進めました。

1 口腔医学の学問体系の確立について

戦略的・大学連携支援事業を中心として、理事長・学長等を中心に国際公私立歯科大学・歯学部・歯科医師会・医師会等に理解と協力を得るために意見交換を積極的に行いました。今日の歯科医学の教育内容は口腔医療という患者・ニーズに対応したものであることを学内外に明示するため、さらには、歯学・歯科医療に対する社会的評価の一層の向上に向けて、大学・学部等の名称変更を行いました。その実現に向けては、今後とも関連国公私立大学および関係諸団体との連携強化を図ることが重要です。

2 教育の改善・充実等について

● 大学教育改革(G.P.)文科省から特色・個性ある優れた取り組みとして選定・支援を受けた事業として、大学では①戦略的・大学連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」、②大学教育・学生支援推進事業・学生支援推進プログラム「臨床体験と就業情報通信システム構築による歯学生の就業支援強化」を、短大では③社会人の学び直し・ニーズ対応教育推進プログラム「介護予防新時代における歯科衛生士の口腔機能向上支援をスキルアップする実践教育」、④大学教育・学生支援推進事業就職支援推進プログラム「超高齢社会の就業力向上につなげる医療・福祉系学生の就職支援」、⑤大学生の就業力育成支援事業「短期大学教育力活用による学際的・就業力育成を推進しました」。

3 研究の活性化について

● 先端科学研究センターが推進する研究プロジェクト「環境ストレスの制御」に対する文科省の中間評価において、「レベルの高い特徴ある研究成果を挙げ続けている」との高い評価を得ました。

4 社会連携・国際交流について

● 「第104回歯科医師国家試験」は、既卒者を含めた総合合格率が67.2%で17私立歯科大学中7位、第20回歯科衛生士国家試験は、前年に引き続き合格率100%でした。

5 組織運営の改善・効率化等について

● 平成22年度事業の実施においては、必要・緊急性・費用対効果を十分吟味した予算執行に努めるとともに、学納金の引き下げを踏まえ、収支バランスを維持するため、科研費等の競争的資金の獲得・安全かつ効率的な資産運用、役職員の給与・退職金等の適正化による人件費の抑制等に努めました。また、契約事務・給与事務等の定型業務の効率化を図るとともに、財務課を3係から2係へ再編合理化を行いました。

● 大学改革の推進および教育情報等の積極的公開のため、大学は平成20、21年度の自己点検・評価報告書を作成公表、短大は平成19、20、21年度の同報告書を作成公表するとともに、ホームページの充実等により学園情報等を積極的に発信しました。

6 収入の部

平成22年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

1 資金収支計算書

収入の部では、学生生徒等納付金収入34億1,973万円、補助金収入5億9,797万円、事業収入18億5,945万円など収入合計は12億9,445万円となり、これに前年度繰越支分12億5,401万円を加えた収入の部合計は14億2,146万円となりました。

2 消費収支計算書

支出の部では、一般退職による退職金の増となりましたが、予算額を2億7,695万円下回る35億7,640万円となりました。

3 貸借対照表

資産の部合計は、有価証券の購入等により対前年度比9億4,776万円増の56億7,703万円となりました。

4 財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産38億4,517万円と減価償却引当特定資産等の運用財産17億9,186万円の合計で56億7,703万円となりました。

5 収入の部

平成22年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

1 資金収支計算書

収入の部では、学生生徒等納付金収入34億1,973万円、補助金収入5億9,797万円、事業収入18億5,945万円など収入合計は12億9,445万円となり、これに前年度繰越支分12億5,401万円を加えた収入の部合計は14億2,146万円となりました。

2 消費収支計算書

支出の部では、一般退職による退職金の増となりましたが、予算額を2億7,695万円下回る35億7,640万円となりました。

3 貸借対照表

資産の部合計は、有価証券の購入等により対前年度比9億4,776万円増の56億7,703万円となりました。

4 財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産38億4,517万円と減価償却引当特定資産等の運用財産17億9,186万円の合計で56億7,703万円となりました。

5 収入の部

平成22年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

1 資金収支計算書

収入の部では、学生生徒等納付金収入34億1,973万円、補助金収入5億9,797万円、事業収入18億5,945万円など収入合計は12億9,445万円となり、これに前年度繰越支分12億5,401万円を加えた収入の部合計は14億2,146万円となりました。

2 消費収支計算書

支出の部では、一般退職による退職金の増となりましたが、予算額を2億7,695万円下回る35億7,640万円となりました。

3 貸借対照表

資産の部合計は、有価証券の購入等により対前年度比9億4,776万円増の56億7,703万円となりました。

4 財産目録

この結果、人件費比率は48.9%となり、全国平均50.0%(平成21年度を下回っています)。また、帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額は15億4,320万円となり、帰属収支差率比率は22.1%で全国平均3.7%(平成21年度を大きく上回っています)、財務の健全性を維持しています。

5 収入の部

平成22年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

1 資金収支計算書

収入の部では、学生生徒等納付金収入34億1,973万円、補助金収入5億9,797万円、事業収入18億5,945万円など収入合計は12億9,445万円となり、これに前年度繰越支分12億5,401万円を加えた収入の部合計は14億2,146万円となりました。

2 消費収支計算書

支出の部では、一般退職による退職金の増となりましたが、予算額を2億7,695万円下回る35億7,640万円となりました。

3 貸借対照表

資産の部合計は、有価証券の購入等により対前年度比9億4,776万円増の56億7,703万円となりました。

4 財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産38億4,517万円と減価償却引当特定資産等の運用財産17億9,186万円の合計で56億7,703万円となりました。

平成23年度 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 科学研究費補助金交付一覧

文部科学省、日本学術振興会から交付される平成23年度の科学研究費補助金対象研究等が次のとおり決定しました。

研究種目	所属講座	職名	氏名	決定額 (直接経費+間接経費) (単位:円)	研究課題
基盤研究(B)	咬合修復学	教授	佐藤博信	3,250,000	コラーゲン生化学的性状に起因する歯槽骨の表現型とその加齢変化パターンの同定
	成長発達歯学	教授	石川博之	2,340,000	bFGFによる口蓋裂術後癒着形成の制御に関する基礎的研究
	先端科学研究センター	教授	関口睦夫	3,510,000	酸化ストレスによる老化を抑える遺伝子系
	生体構造学	教授	沢 禎彦	3,900,000	リンパ管内微小環境におけるCLEC2-PLAG複合体の癌性形質誘導に関する研究
	再生医学研究センター	教授	福島忠男	9,360,000	骨伝導性DNA/プロタミン複合体を応用したインジェクション型骨補填材の開発
	口腔・顎顔面外科学	教授	池邊哲郎	5,070,000	口腔粘膜のゲノム酸化防御機構の解明と口腔がん予防検診への応用
基盤研究(C)	成長発達歯学	准教授	塚本末廣	650,000	口腔乾燥の改善に関する研究
	医療人間学	教授	永嶋哲也	650,000	哲学的愛とキリスト教的愛そして恋愛の誕生
	細胞分子生物学	准教授	大久保 つや子	1,300,000	T型Caチャネル遺伝子methylationによる機能修飾とがん細胞における役割
	機能生物化学	教授	上西秀則	1,040,000	酵母から発見した新規NADの神経細胞分化誘導・保護作用に関する研究
	細胞分子生物学	講師	岡本富士雄	1,300,000	Ca ²⁺ 透過性イオンチャネル(TRP)による破骨細胞のアポトーシス誘導機序の解明
	細胞分子生物学	講師	鍛冶屋 浩	910,000	破骨細胞酸分泌を調節する新規分子の探索とその調節機序解析
	生体構造学	講師	大野 純	1,170,000	口腔粘膜免疫疾患におけるエフェクター細胞の上皮指向性機序の解明
	生体構造学	准教授	岡村和彦	650,000	クロライドチャネル関連分子CLCAによる細胞増殖・接着の制御
	口腔治療学	教授	阿南 壽	650,000	生体活性ガラスを応用した根尖部歯周組織再生療法の開発
	咬合修復学	教授	高橋 裕	910,000	ガラス繊維強化型コンポジット(FRC)の開発と義歯応用への実用化に向けた検討
	咬合修復学	准教授	清水博史	1,040,000	異種高分子材料で構成する新しい補綴装置の開発
	咬合修復学	教授	松浦正朗	390,000	デジタル映像を用いた顔面補綴物(エビテーゼ)の誘目性低下に対する研究
	歯科医療工学	講師	川口 稔	780,000	ナノカーボン分子ヒーターによる組織再生促進モデルの構築
	先端科学研究センター	准教授	高木康光	1,820,000	酸化ストレス下で、正常な複製や転写を保證する酵素の役割
	診断・全身管理学	講師	三輪邦弘	910,000	頸部腫瘍超音波像を利用した画像診断所見の統一定量化システムの開発
	生体構造学	准教授	敦賀英知	1,170,000	伸展刺激によりオキタラン線維から遊離するLTBP-2の意義
	口腔保健学	准教授	筒井昭仁	1,300,000	人はフッ素利用にリスクを感じているのか、どのくらい大ききで、どんなものかを調べる
	医療人間学	教授	壬生正博	1,950,000	中英語夢幻視物語とダンテ「神曲」の異界描写および写本画像を対象とする比較研究
	生体構造学	教授	稲井哲一朗	2,470,000	タイト結合構成膜蛋白クローデインの対合形成と細胞間透過性の解析
	総合医学	教授	大星博明	2,600,000	炎症性免疫応答を標的とする脳梗塞治療の研究
生体構造学	講師	畠山雄次	2,340,000	アモロジェニンによる新規軟骨細胞分化機序の解明	
診断・全身管理学	講師	香川豊宏	1,690,000	3D立体視が可能な歯科放射線学に関する学習支援教材の開発	
口腔治療学	准教授	泉 利雄	2,340,000	ストロンチウム含有生体活性ガラスによる新規骨補填材の開発	
総合歯科学	教授	廣藤卓雄	2,600,000	乳酸菌が介護高齢者の歯周疾患と全身健康状態に及ぼす効果	
挑戦的萌芽研究	口腔治療学	教授	坂上竜資	1,040,000	マウス歯胚によるヒト歯硬組織再生に関する研究
	生体構造学	教授	沢 禎彦	2,210,000	PLAG-免疫グロブリンキメラ蛋白による抗腫瘍免疫の誘導
	口腔・顎顔面外科学	教授	池邊哲郎	1,560,000	メバロン酸経路を標的とした破骨細胞回復療法の開発
	※保健福祉学科	教授	知念正剛	650,000	微量唾液を使った口腔乾燥症診断評価に関する研究
	※保健福祉学科	教授	大倉義文	1,300,000	認知症出現前の早期脳内変化を捉えるための近赤外線分光法による検査システムの開発
若手研究(B)	咬合修復学	助教	片瀨 三千綱	650,000	新規アプローチによる骨再生誘導法開発
	総合医学	助教	久留島 秀朗	1,690,000	脳血管障害形成過程における細胞内カルシウム動態の研究
	総合歯科学	助教	牧野路子	1,300,000	末梢型ベンゾジアゼピン受容体遺伝子解析の治療リスク診断への応用
	生体構造学	講師	岡 暁子	1,300,000	軟口蓋発生における分子メカニズムの解明
	成長発達歯学	講師	玉置幸雄	910,000	自己組織化マップを応用した外科的矯正治療の診断支援システム
	細胞分子生物学	助教	藤兼亮輔	1,300,000	アルキル化DNA損傷に応答したアポトーシスシグナルの分子機構の解明
	生体構造学	医員	岩橋輝明	1,820,000	スフェロイド培養法を応用した口腔がんリンパ節転移機序の解明
	口腔治療学	医員	松本典祥	2,470,000	ラット頭蓋骨骨欠損部における生体活性ガラスとEMドゲインの効果の解明
	口腔治療学	講師	諸富孝彦	1,950,000	耐性を高めた残存歯髄組織を利用した象牙質一歯髄複合体再生療法の確立
	咬合修復学	助教	徳富健太郎	650,000	下顎骨の老化の特異性
	診断・全身管理学	講師	野上 堅太郎	3,250,000	fMRIを用いた星状神経節ブロック治療効果の定量化
	成長発達歯学	講師	秦 雄一郎	1,430,000	bFGF投与による口蓋裂術後癒着組織の正常組織化
	成長発達歯学	助教	植木猛士	3,120,000	矯正力負荷による歯周リンパ微小循環の機能阻害がもたらす破骨細胞集積と歯根吸収
	総合歯科学	講師	谷口奈央	1,170,000	口腔レンサ球菌による唾液ムチン分解が口臭物質の発生機構におよぼす影響
	※歯科衛生学科	准教授	後藤加寿子	1,560,000	咬合性外傷モデルマウスを用いたケモカイン発現と顎骨吸収との相関解析

注)所属講座欄の※印は、福岡医療短期大学所属教員を示します。

科学研究費補助金(科研費)は、文部科学省、日本学術振興会が行っている「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、厳密な審査を経て、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対して助成が行われるものです。研究課題が科研費に採択されることは、他の専門研究者から高い評価を得たことを意味し、研究者にとって研究論文と共に重要な業績になっています。

新理事・評議員紹介

平成23年4月19日に開催された第436回理事会において、本学園理事及び評議員に次の各氏が選任されました。

サンシャインシティ施設長

中島 興志行

4月1日、中島興志行前教授(内科学分野)が介護老人保健施設サンシャインシティの施設長に就任されました。



理事・評議員 長谷 宏一

《略歴》九州歯科大学卒業。福岡県歯科医師会常務理事、日本歯科医師会常務理事、福岡県歯科医師会専務理事、福岡県歯科医師国民健康保険組合専務理事、学校法人博多学園理事、財団法人福岡県公衆衛生協会監事、九州地区連合歯科医師会専務理事、日本歯科医師会代議員を経て、福岡県歯科医師会会長。福岡県出身。



評議員 熊澤 榮三

《略歴》神奈川県歯科大学卒業。九州大学歯学部第1補綴学教室、福岡市歯科医師会理事、常務理事、福岡県歯科医師会常務理事、九州地区連合歯科医師会常務理事、日本歯科医師会代議員、福岡市歯科医師会専務理事を経て、福岡市歯科医師会会長。福岡県出身。



昇任教員紹介

おか きょうこ 岡 暁子 講師

成育小児歯科学分野

《略歴》九州大学歯学部卒。同大学大学院小児歯科学専攻博士課程修了。南カリフォルニア大学(USC)留学。九州大病院小児歯科・医員、日本大学解剖学教室・研究員、福岡歯科大学生体構造学講座・助教を経て、平成23年6月1日同大学成育小児歯科学分野講師に昇任。博士(歯学)。長崎県出身。



小児歯科専門医として臨床に従事しながら、留学時代から開始した顔面発生についての研究も継続してきました。これまでの経験を活かし、成育小児歯科学教室の発展に努力していきたいと思っています。

はた ゆういちろう 秦 雄一郎 講師

矯正歯科学分野

《略歴》福岡歯科大学歯学部卒。福岡歯科大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了。福岡歯科大学成長発達歯学講座矯正歯科学分野助教を経て、平成23年6月1日、同大学講師に昇任。博士(歯学)。福岡県出身。



矯正歯学を通じて咬合を診ることができる歯科医師の育成に努めます。臨床、研究、教育のバランスのとれた仕事を目標として頑張ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新任教員紹介

しまだ かおる 嶋田 香 准教授

医療統計学分野

《略歴》早稲田大学理工学部卒。筑波大学大学院修士課程医学研究科修了。早稲田大学大学院博士後期課程情報生産システム研究科修了。早稲田大学客員講師(専任扱い)を経て、平成23年6月1日福岡歯科大学准教授に就任。博士(工学)、修士(医学)。茨城県出身。



数学・統計学の講義では、重要な考え方をしっかりとつかむことができるように丁寧に説明していきたいと思っています。研究では、医療系データからの知識発見など、新しい解析方法の開発に取り組んでみたいと考えています。

まるた みちと 丸田 道人 講師

生体工学分野

《略歴》九州大学歯学部卒。九州大学大学院歯学府博士課程修了。九州大学大学院歯学研究科助教を経て、平成23年7月1日福岡歯科大学講師に就任。博士(歯学)。大阪府出身。



研究では、人工骨に魅せられてアパタイトの研究を行ってきました。教育では、学生が抱く「なに?なぜ?どうして?」を大切に、歯科理工学を歯科医師と材料研究者の立場からわかりやすく講義していきたいと考えています。

福岡歯科大学特待生

福岡歯科大学の平成23年度特待生に次の5人が選ばれました。特待生は、平成22年度の学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康であることを加味決定され、その年度の授業料の半額が免除されます。



《第2学年》田中 慎之輔 《第3学年》中嶋 宏樹 《第4学年》柴田 華衣 《第5学年》小野 由湖 《第6学年》榎坂 佳子

福岡歯科大学AO入試学術奨励金支給者

平成23年度AO入試学術奨励金(年額120万円)が平成22年度の学業成績が優秀であった第2学年後藤碧さんと平成23年度入試試験で成績が優秀であった第1学年大草貴恵さん、富沢美沙さん、秋山史織さんの3名に支給されました。



《第1学年》大草 貴恵 《第1学年》富沢 美沙 《第1学年》秋山 史織 《第2学年》後藤 碧

福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学の平成23年度特別奨学生に次の6人が選ばれました。特別奨学生は、その年度の授業料の半額が免除されます。



歯科衛生学科第2学年 中野 六月 古瀬 恵 中西 愛里 坂本 由里子 青山 理恵 福原 一世

福岡歯科大学大学院RA、TA

福岡歯科大学大学院の平成23年度リサーチアシスタント(RA)及びティーチングアシスタント(TA)に次の方が採用され、6月23日、辞令交付式が行われました。

リサーチアシスタント(RA)

《第4学年》今泉 友里(障害者歯科学) 《第4学年》中富 佑香(矯正歯科学)
 《第3学年》王 東江(口腔インプラント学) 《第3学年》佐野 しおり(歯周病学)
 《第3学年》西村 紗和(矯正歯科学) 《第3学年》堀越 恵美子(矯正歯科学)
 《第2学年》内山 貴誠(矯正歯科学) 《第2学年》太田 信敬(口腔腫瘍学)
 《第2学年》鴨川 和子(口腔インプラント学) 《第2学年》篠崎 陽介(口腔インプラント学)
 《第2学年》友岡 みわ(障害者歯科学) 《第2学年》長谷 英明(有床義歯学)
 《第2学年》秦 省三郎(矯正歯科学) 《第2学年》府川 晃久(口腔腫瘍学)

平成23年度福岡歯科大学大学院特別奨学生・奨学生

福岡歯科大学大学院特別奨学生(修学資金として毎月16万円を支給)として次の10人を決定しました。

《第4学年》川口 智弘(有床義歯学) 《第4学年》根本 哲臣(有床義歯学)
 《第3学年》坂井 拓弥(口腔インプラント学) 《第3学年》藤本 暁江(総合歯科学)
 《第2学年》濱中 一平(有床義歯学) 《第2学年》森 南奈(歯周病学)
 《第2学年》山内 由宣(矯正歯科学) 《第1学年》吉良 迪子(成育小児歯科学)
 《第1学年》永沼 香織(口腔外科学) 《第1学年》山之内 香(矯正歯科学)



福岡歯科大学大学院奨学生(修学資金として授業料相当額70万円を支給)として次の10人を決定しました。

《第4学年》天野 郁子(障害者歯科学) 《第4学年》岡本 愛彦(口腔外科学)
 《第4学年》中富 佑香(矯正歯科学) 《第4学年》樹尾 陽介(総合歯科学)
 《第3学年》佐野 しおり(歯周病学) 《第2学年》太田 信敬(口腔腫瘍学)
 《第2学年》加地 千晶(障害者歯科学) 《第2学年》堤 貴司(有床義歯学)
 《第2学年》村上 弘(歯周病学) 《第2学年》安野 貴美恵(口腔インプラント学)

激励会 第6学年激励会

6月8日、本館食堂において、第6学年の歯科医師国家試験合格に向けての激励会が開催されました。田中理事長より激励の言葉、白水父兄後援会長や武井同窓会専務理事より応援メッセージをいただきました。また、今春、歯科医師国家試験に合格した先輩6人から、学習法や受験までの生活リズムのとり方等のアドバイスをいただきました。学生代表の柿内貞作君が全員の合格を誓い、お礼の言葉を述べました。



体育祭 第14回学園体育祭

5月27日、福岡歯科大学グラウンド及び体育館にて福岡歯科大学・福岡医療短期大学の共同開催による学園体育祭が開催されました。大学291名、短大278名、計569名の学生が参加し、熱戦を繰り広げました。グラウンドではサッカー、体育館では玉入れ、バスケットボール、バレーボールなどの競技が行われました。各競技の結果は下表のとおりです。



競技成績			
種目	区分	優勝	準優勝
バレーボール	男子	大学 第4学年	大学 第6学年
	女子	大学 第4学年	大学 第3学年
バスケットボール	男子	大学 第4学年	大学 第5学年
	女子	大学 第5学年	大学 第4学年
サッカー	男子	大学 第3学年	大学 第6学年
玉入れ	—	大学 第4学年	大学 第1学年
クラブ対抗リレー	男子	ラグビー・フットボール部	バスケットボール部
	女子	バスケットボール部	

ご案内 平成23年度 父兄後援会支部懇談会開催日程

平成23年度の父兄後援会支部懇談会が下記日程のとおり開催されます。各支部の総会のほか、大学からの近況報告や父兄との個別面談、意見交換などが行われます。是非ご参加ください。詳細については各支部へお問い合わせください。

実施日	支部	会場名
8月6日(土)	福岡県中央	福岡ガーデンパレス(福岡市)
	近畿	ラマダホテル大阪(大阪市)
	山口県	下関グランドホテル(下関市)
8月7日(日)	福岡市	福岡ガーデンパレス(福岡市)
	福岡県東部	のみみプレジデントホテル(飯塚市)
	大分県	大分東洋ホテル(大分市)
	広島県	
	山陰	リーガロイヤルホテル広島(広島市)
8月20日(土)	岡山県	
	北九州	リーガロイヤルホテル小倉(北九州市)
	沖縄県	沖縄ナハナホテル(那覇市)
	鹿児島県	鹿児島東急イン(鹿児島市)
8月21日(日)	四国	松山全日空ホテル(松山市)
	福岡県南部	ハイネスホテル久留米(久留米市)
	長崎県	ホテルニュー長崎(長崎市)
8月27日(土)	宮崎県	宮崎観光ホテル(宮崎市)
	佐賀県	マリトピア(佐賀市)
8月28日(日)	熊本県	熊本全日空ホテルニュースカイ(熊本市)
8月28日(日)	関東・東日本	グランドプリンスホテル高輪(東京都港区)

運動会 第9回サンシャインシティ運動会

6月26日、介護老人保健施設サンシャインシティ1階デイケア・リハビリフロアにて第9回運動会が開催されました。この運動会は入所者の日ごろのリハビリの成果を生かし、競技を通じて入所者とその家族、職員がともに楽しく汗を流し交流を深めること、また、施設看護・介護について理解を深めていただくことを目的として毎年行っています。今年は借り物競走や綱引き、玉入れなどの競技が行われ、楽しいひと時を過ごしました。



コラム 「定心」

個人の中の組織

最近、人と組織の関係について考えることが多くなった。私達は何のために生きているのだろうか。多くは「夢」の実現であると答えるであろう。「夢」が個人の力の及ぶ範囲にあるときは良いのだが、大きすぎる場合、

仲間を募り、組織を形成して、他者を巻き込んで自己実現をしていく方法がなくなる。しかも、自分の「夢」と他者の「夢」は微妙に違うため、常に妥協を求められ、自己実現を阻まれるという逆説的な立場に直面する。組織を動かしている人がいつのまにか組織に動かされていることに気がついて愕然とする。かといって、組織を離れて自己実現はで

きない。こうして考えると、私達が直面する個人と組織の緊張関係は絶え間なく拡張するという「夢」の性状から生じ、組織に押し返される所まで無限に広がっていく。結局のところ、常に「夢」はどこかで組織にぶつかって動けなくなる。「敗者は個人で組織ではない」が見えていくところに、個人としての哀しみが、組織としての優しさがある。

山口県同窓会 学術講演会

最新の小児歯科治療について講演

田辺均(2期)

平成23年4月16日16時から
山口市のセントコア山口にて

福岡歯科大学同窓会山口県支部(長州歯会)総会、学術講演、懇親会が開催されました。

学術講演は講師に福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野教授の尾崎 正雄先生をお招きして「最新の小児歯科治療について」という演題で講演していただきました。

福岡歯科大学の成育小児歯科学分野は1973年に西日本で初めての小児歯科学教室として開講されましたが、その当時の懐かしい母校や周辺の景色、教室の模様などをスライドで紹介していただきました。また小児歯科治療についても、開講当時は患者が多すぎて、予約1年待ちが普通でしたが、口腔の健康教育の成果により、う蝕の軽症化がみられるようになり、それに加えて少子化による患者数の減少もあり大病院小児歯科受診患者の質の変化がみられ、現在はいう蝕予防、咬合誘導を希望する患者が増加しているとのことでした。う蝕治療

の実際ではMI(ミニマムインターベション)を取り入れた治療や、舌の悪習癖を矯正し嚙下障害を直す装置や、デントラルCTの活用により永久歯胚に影響を与えず、過剰歯を摘出する治療など、多くの最新の小児歯科治療を教えてくださいました。

講演終了後、記念撮影、懇親会が行われ、尾崎教授の同級生も数名出席されており、時間が逆転したように学生時代の話で大盛り上がりでした。尾崎教授からも「懐かしい皆様にお会いできて、大変楽しい講演をさせていただきました。」というコメントをいただきました。



同窓生からの手紙

福岡歯科大学学内同窓会長として

福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野
准教授 城戸 寛史 (6期)

2010年10月に尾崎正雄(3期)先生が成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野の教授に就任されました。有床義歯学分野の高橋裕教授に続き、同窓から2人目の教授の誕生は学内の同窓生にとって大変励みになります。尾崎先生が教授に昇任され、慣例により同窓会学内同窓会長を退任されましたので、その後を引き継ぐ形で平成23年度より学内同窓会長の任に就くこととなりました。

同窓会からは学内の若いドクターに対して、研究費や海外学会参加費の補助金、卒後研修の終了祝賀会など、様々な支援が行われています。学内同窓生に対するこれらの支援活動が、後輩たちのさらなる活躍につながるように努力したいと考えます。

また、インプラントに関連した卒後研修の一環として、同窓会主催の「ICOI Fellowship養成コース」や「F.P.I.T.インプラントセミナー」を開催しています。ICOI Fellowship養成コースは、世界最大の規模のインプラント関連学会であるICOIの認定資格を取得するためのコースで、このコース修了者から約10名が資格を取得しています。F.P.I.T.インプラントセミナーはインプラントの初心者を対象としたコースで、実習内容が大変充実しています。これらの講習会では学内外で活躍する同窓生が講師陣の中心となっており、同窓生の貴重な研修の機会となっています。

来年度、福岡歯科大学は40周年を迎えます。この節目の時期に当たり、微力ながら同窓会と学内外とのパイプ役になれるよう頑張る所存です。

卒業生NOW

マイブームは自転車と銭湯!

大神 京子 (17期)

こんにちは。17期生の大神京子です。

卒業と同時に上京し、あっという間に16年…。上京したての頃は、福岡に帰りたいと毎日思っていたのですが、縁もゆかりもない東京都新宿区で開業し、おかげ様で今年の5月で開業10周年を迎えることができました。これも何かと応援して下さい、相談にのって下さった先輩方、同期の友人たちのおかげと感謝しています。ありがとうございます。

最初の数年間は、24時間365日仕事漬けの毎日でしたが、ここ数年やっと気持ちにゆとりができて自分の時間を持てるようになってきました。

特に最近ハマっているのが、自転車と銭湯!福岡にいた頃は、通学は勿論徒歩5分のコンビニすら車で走っていたのですけどね。



同窓生オープンキャンパス・入試説明会

5月29日と6月12日に、福岡歯科大学の同窓生のご子弟を対象としたオープンキャンパス及び入試説明会が開催されました。学内施設見学や在学生・教員との歓談会などが行われ、参加者からは、歓談会で在学生から国際交流の話聞いたことや入試説明が個人面接の対策の参考になったことなど喜びの声があがりました。



大学ポロシャツ
販売中!



福岡歯科大学本館1階日用品売場において、大学ポロシャツの販売を1着1,100円(税込)で開始しました。数に限りがありますので早目にお求めください。

一歴史の重みを感じながら

深野 剛史 (20期生 / 深野歯科医院(山口県防府市))

3代目として患者さんを大切に
スタッフに感謝しつつ精進

同

窓生の皆様こんにちは。20期生の深野剛史と申します。平成10年に卒業し、卒業研修を経た後、早良区野芥の伊藤歯科医院に2年ほど勤務しました。その後、実家である山口県防府市の深野歯科医院の副院長として勤務しました。父が食道がんという大病をした(現在は完治し、職場復帰もしています)のを機に、平成21年の9月に世代交代をし、三代目の院長(軍医だった祖父が開業しました)として診療・病院経営に励んでおります。

防府に戻って10年が経ちます。帰った当初は地元の方言(特にご年配の方の使う濃い方言)が理解できず、患者さん(特にご年



お世話になっているスタッフと(筆者は写真前列右2番目)



配の方)との意思疎通に苦労をしました。最近では言葉にも慣れ、かなりディープな山口弁にも対応しています(こつちもかなりディープな方言になってるんでしょうね。自分では気がつきませんが)。

私で三代目となる深野歯科医院ですが、祖父・父と続いた歴史の重みを感じながら、日々の診療を行っています。現在、深野歯科医院では歯科医師2名、歯科衛生士3名、歯科技工士2名、受付1名、経理・事務1名の9名が「自分のしてもらいたい治療・対応をしよう」をモットーに「丸となって日々努力をしています。歯科界も大変厳しい時代ですが、まずは深野歯科医院を支えてくれているスタッフに感謝し、患者さんに技術的にも精神的にも満足していただけるよう精進していきたいと思えます。最後になりましたが、今までお世話になりました諸先生方にお礼申し上げます。また、同窓生のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

一院内外診療にて

加藤田 浩志 (23期生 / 加藤田外科医院 歯科診療所(福岡県筑紫野市))



地元福岡で、地域医療に貢献

みなさん、こんにちは!! 私は第23期生の加藤田浩志と申します。生まれ育った福岡県筑紫野市の地に、昨年10月、外科医である父の病院を一部改装する、という形で開業して半年がたちました。

私の妻が受付、経理を担当し、歯科衛生士1名、総勢3名と小規模な医院ですが、幸い良いスタッフにめぐまれ充実した日々を送っております。

病院内にある院内歯科であるので、入院中の有病者の患者様や、認知症のある高齢者の患者様を診る機会が多くあります。

このような方は、なかなか歯科診療がスムーズにいかない場合があるので、外

科の看護師さんや歯科スタッフと連帯をとりながら、患者様の家族の方と話し合い、時には家族の方に付き添ってもらいながら治療を進めるようにしています。また、私の医院では介護施設や居宅への訪問診療も多く行っており、この事を歯科衛生士もよく理解し、未熟な私を支えてくれています。

まだまだ至らない所が沢山ありますが、諸先輩方に助けていただきながら、地域医療に貢献すべく、努力していきたいと思っています。



FROM STUDENTS 学生からのメッセージ

大学院に入学するということ。

高田 俊輔 (大学院1年)

昨年臨床研修を終え、本年度より矯正歯科の大学院1年生として日々、臨床と研究の二足のわらじを履きながら充実した毎日を送っております。今回は、私が大学院に入学を決めた大きな2つの理由についてお話させていただきます。



一つ目は、現在の治療は、全て過去の研究によるデータをベースになされていて、単純で簡単な治療から最先端の治療一つ一つにエビデンスがありますが、大学院での研究ではそのエビデンスを自らが作り上げる喜びを感じられ、臨床の発展に寄与できることは人生で大変貴重なことだと考えたからです。

二つ目は、大学院で研究を通して自分自身が大きく成長できるからです。研究というのは「問題提起・仮説・方法・結果・考察」という柱があり、それを自分で考えてこなしていきます。つまりは自分自身で問題を発見し、解決していく力(リサーチマインド)が身に付くということではないでしょうか。それは日々の臨床において必要不可欠な能力でもあります。すべては患者さんのために最善の治療を提供する(この当たり前のことができるようになるために私は大学院に入学することを決意しました。

後輩のみなさんも是非、大学院にはいって自分を高め、自分に自信を持った歯科医師になりましょう。

地味な練習の積み重ねすら楽しみつづ

平川 智裕 (大学4年)

私はMusic Association部(以下MA)に所属しています。軽音楽に対してあまり良い印象を持ってない方もいるかもしれませんが、派手なライブの裏側には地味な練習の積み重ねがあります。実際、私も手にマメを作りながらの反復練習、何時間もスタジオに籠っての試行錯誤を続けています。でももちろん、練習さえも楽しいのが音楽のいいところですが。



右側が筆者

そんな大変な練習を乗り越えて、私たちMAでは年に二度、夏と冬に演奏会を開催しています。練習の成果を学内、学外問わず多くの人に見てもらえます。ステージの上での興奮は、頭を真っ白にさせてくれる魅力があります。ライブで部員たちはジャンルを問わず、各々の好きな音楽を楽しみながら演奏しますが、その姿は部員の私から見ても魅力的で輝いています。

音楽では、順位などつきませんし、他の部活に比べて結果や、努力の姿は表面に現れにくいかもしれませんが、音楽を通して、私たちは大学生活を忘れることのできない、魅力的な思い出にしていけると思っています。

FROM PARENTS 保護者様からのメッセージ

福歯大生としての自信と誇りを持って羽ばたくんだ!!

この度の東日本大震災で本校の生徒の直接的被害はなく安堵していますが、御親戚、友人、知人で被災された方もいらっしゃるでしょう。心よりお見舞い申し上げます。日頃より、先生方、職員の方々には息子がお世話になりありがとうございます。私も4期卒業生であり、子供が同じ道を目指してくれることに感謝し喜んでおります。役員もさせて頂いてるので(学生共済会、父兄後援会、同窓会)、学生の様子もいろいろと聞く機会があります。私の頃と違い授業も厳しく、学生もきちんと受けております。また、放課後も残って皆で励ましあい、本当によく勉強しております。人を蹴落として自分だけというのではなく、皆で頑張る国家試験合格という、福歯大の気質が受け継がれているのです。男女仲良く、優しい子が多い様に思われます。

さて、近年の国家試験の難化?! いや資格試験ではなく足切り試験には、本当に腹立しく思っております。国家試験の本当の意義は、このレベルでの免許取得という事ではなかったでしょうか? 歯科医が多いから、人数で切る?! 104回の国試結果で言いますと、3,378名受験して合格者は、2,400名(合格率71.0%)。卒業したにもかかわらず、毎年1,000名近く税金も年金も払えない若者を作ってこれが国益でしょうか? ここは、大学側は勿論、保護者側もしっかり、あきらめずに国に訴えていくことが責務です。若者には、免許を与えそれから勝負なのです。

この先大変な世の中になるとの連日の報道には、辟易します。若者に希望の未来を描かせてあげるのが、親、教育者の務めです。そして今、学生は何をすべきか? しっかり勉強し、免許を取り、人の痛みがわかる歯科医師になる、また、口腔医学と言われている近年、口から体全体に及ぼす病気の研究などさまざまな分野で活躍して欲しい。福歯大生よ! 自信と誇りを持って羽ばたくんだ!!



鶴田 勝久 様
(父兄後援会理事)

学生たちに夢を与えていただきたい


福岡歯科大学を卒業してあつという間に28年が過ぎ、50代も半ばにさしかかろうとしています。長女は結婚し1児の母、次女は学業に励んでくれていると信じています。私は5期生になりますが、同級生は平均して4、5年勤務医あるいは大学などの医療機関で研修し、殆どの者が開業医となりました。卒後10年間隔で同窓会を開きたくさんの同級生が集まります。30、40代のころは仕事においてもプライベートでも夢を語り合っていました。近頃は患者数の減少に伴う収入の低下など、前向きな話を語ることが少なくなっています。歯科医師としての将来に対し不安を感じている者も多くなります。特に自分たちの子弟を後継者にすることに対し、否定的な者も増えてきているように思います。私が母校である福岡歯科大学にお願いしたいのは、学生たちに夢を与えていただきたいということです。卒業後に大学の各講座に入局し、専門医として研究、研修し、歯科界をリードしてゆくような人材を育成していただければと思います。私立福岡歯科大学のカラーを出し、その中から各分野のリーダーが生まれてくれば、これほど嬉しいことはありません。同窓生として大学に対してどのような協力も惜しみません。最後になりますが、理事長、学長はもとより各講座の先生方におきましては、学生に対しての細やかなご指導誠にありがとうございます。



古野 宏 様
(父兄後援会副会長)

平成24年度 入学試験日程


福岡歯科大学

区分	歯学部							大学院 歯学研究科	
	AO入試Ⅰ期	推薦・指定校推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試Ⅰ期	一般入試B日程	センター試験利用入試Ⅱ期	AO入試Ⅱ期	一次募集	二次募集
募集人員	約30名	約15名	約35名	約4名	約5名	約4名	約3名	18名	
願書受付期間	H.23.8.1(月)～26(金)	H.23.10.24(月)～11.11(金)	H.24.1.4(水)～30(月)		H.24.1.23(月)～2.17(金)	H.24.1.23(月)～2.15(水)	H.24.2.22(水)～3.13(火)	H.23.7.25(月)～8.12(金)	H.24.1.23(月)～2.10(金)
試験日	H.23.8.28(日)	H.23.11.12(土)	H.24.2.2(木)		H.24.2.21(火)		H.24.3.14(水)	H.23.8.18(水)	H.24.2.16(木)
合格発表日	一次 H.23.8.30(火) 二次 H.23.10.5(水)	H.23.11.16(水)	H.24.2.6(月)	H.24.2.8(水)	H.24.2.22(水)		H.24.3.15(木)	H.23.8.31(水)	H.24.2.28(火)
試験会場	福岡歯科大学 及び、新大阪丸ビル本館		福岡歯科大学 及び、東京ガーデンパレス		福岡歯科大学		福岡歯科大学		
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●E-mail gakumu@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp							 ▲携帯電話からのアクセスはこちらから!	

福岡医療短期大学

区分	歯科衛生学科								専攻科・口腔保健衛生学専攻		
	指定校推薦入試	公募推薦入試(Ⅰ)	公募推薦入試(Ⅱ)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	一次募集	二次募集	三次募集
募集人員	約10名	約10名	約5名	約15名	約5名	若干名	若干名	約35名	約15名	約5名	若干名
願書受付期間	H.23.10.3(月)～13(木)	H.23.10.24(月)～11.1(火)	H.23.12.1(木)～8(木)	H.24.1.4(水)～27(金)	H.24.2.2(木)～15(水)	H.24.2.20(月)～3.7(水)	H.24.3.12(月)～26(月)	詳細は 入試係まで お問い合わせ ください。	H23.12.1(木)～12.8(木)	H23.12.15(木)～H24.1.12(木)	H24.3.12(月)～3.26(月)
試験日	H.23.10.15(土)	H.23.11.3(木)	H.23.12.10(土)	H.24.2.1(水)	H.24.2.17(金)	H.24.3.9(金)	H.24.3.28(水)		H23.12.10(土)	H24.1.14(土)	H24.3.28(水)
合格発表日	H.23.10.21(金)	H.23.11.10(木)	H.23.12.15(木)	H.24.2.7(火)	H.24.2.22(水)	H.24.3.14(水)	H.24.3.29(木)		H23.12.15(木)	H24.1.19(木)	H24.3.29(木)
試験会場	福岡医療短期大学								福岡医療短期大学		

区分	保健福祉学科								AO入試(社会人含む)
	指定校推薦入試	公募推薦入試(Ⅰ)	公募推薦入試(Ⅱ)	一般入試A日程(社会人含む)	一般入試B日程(社会人含む)	一般入試C日程(社会人含む)	一般入試D日程(社会人含む)	AO入試(社会人含む)	
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	若干名	約15名
願書受付期間	H.23.10.3(月)～13(木)	H.23.10.24(月)～11.1(火)	H.23.12.1(木)～8(木)	H.24.1.4(水)～27(金)	H.24.2.2(木)～15(水)	H.24.2.20(月)～3.7(水)	H.24.3.12(月)～26(月)	詳細は 入試係まで お問い合わせ ください。	H.24.3.12(月)～26(月)
試験日	H.23.10.15(土)	H.23.11.3(木)	H.23.12.10(土)	H.24.2.1(水)	H.24.2.17(金)	H.24.3.9(金)	H.24.3.28(水)		
合格発表日	H.23.10.21(金)	H.23.11.10(木)	H.23.12.15(木)	H.24.2.7(火)	H.24.2.22(水)	H.24.3.14(水)	H.24.3.29(木)		
試験会場	福岡医療短期大学								

問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail: gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp							 ▲携帯電話からのアクセスはこちらから!	
------	---	--	--	--	--	--	--	---	--

キャンパス歳時記

かわいいマガモのヒナが生まれました!

6月8日、福岡歯科大学医科歯科総合病院西側の池で、この時期恒例となったマガモのヒナ3羽が生まれました。ヒナは母鳥の後について、上手に泳ぎまわり、その愛らしい姿は患者さんや職員の癒しとなっています。



編集後記

子どもに人気のドラえもんは22世紀からやってきたようですが、その頃の歯科医療は我々の想像を越えた生命科学の発展に立脚したものになっているのだらうと筆者は勝手に想像しています。そのような未来の医学・医療に向けて、本学園は口腔医学の学問体系の確立に取り組んでいます。法人名から歯科がとれたことでひとつの弾みがついた福岡学園が、今後どのような道を切り拓いていくのか。それを読者のみなさまに伝えていくことを使命として、編集部一同がんばっていききたいと思います。

オープンキャンパス開催のお知らせ

福岡歯科大学・福岡医療短期大学
平成23年度・オープンキャンパス情報

本学への入学希望者をはじめ、そのご家族や高校・予備校の先生方を対象としたオープンキャンパスを下記の日程で開催いたします。各大学の入試係までお問合せのうえ、お気軽にご参加ください。

詳しくはホームページで公開中!

福岡歯科大学

実施日
7月31日(日)
8月21日(日)

- 内容
- ◎模擬実習
 - ◎施設見学
 - ◎昼食会
 - ◎大学概況説明
 - ◎入学試験説明
 - ◎個別進学相談会等

大学生と同じ実習を体験したり、在校生から直接話を聞けたりと、キャンパスライフを体感できる充実の内容です。



メールでのお申込みはこちら



施設見学



模擬実習

福岡医療短期大学

実施日
7月22日(金)
8月5日(金)・26日(金)
9月10日(土)・25日(日)
10月15日(土)
11月26日(土)
12月10日(土)

- 内容
- ◎施設見学
 - ◎カリキュラム説明
 - ◎在学生の声紹介
 - ◎入学試験説明

入試資料・記念品配布!



メールでのお申込みはこちら



歯科衛生学科:歯磨き体験



保健福祉学科:介護施設見学